



発行  
神奈川県立柏陽高等学校  
同窓会柏樹会

神奈川県横浜市栄区柏陽1-1  
柏陽高校内  
TEL 045-892-2105  
http://hakuju-kai.jp/  
2014年8月28日

## 2016年 柏陽高校は創立50周年を迎えます

開眼！ 座右の銘 柏陽と歩む

柏樹会会長

広岡 淳利（1期生）



柏樹会の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私は、柏樹会前会長矢部博（四期生）氏のもと、平成23・24年に副会長を務めさせていただき、平成25年4月より会長に就任いたしました。よろしくお願ひ申し上げます。

みなさんは高校時代に受けた授業の中で、一番という授業がありましたか。私にとって柏陽高校での一番の授業は、国語の佐藤繁先生にご教授された作家亀井勝一郎の名言「人生 邂逅し 開眼し 瞑目す」が書かれた1冊の本によるものでした。

「邂逅」とは、いろいろなものとの出会い（出逢い）。それは必ずしも人との出会い（出逢い）だけでなく、書物や雑誌など何でもよいのです。「開眼」とは、その巡りあったものに自分が

### 創立50周年記念事業

『一緒に参加してみませんか』

柏陽高校創立50周年記念事業  
柏樹会実行委員会 実行委員長

本谷 守（1期生）



1967（昭和42）年、柏陽高校がスタート。2016（平成28）年に創立50周年となります。柏陽高校1期生の僕の

生まれば、1951（昭和26）年。僕の父は1919（大正8）年、母は1925（大正14）年生まれです。父は15年前80歳で亡くなりましたが、母は、現在89歳、元気に家事をこなしています。

僕の子ども時代は、東京タワー・東海道新幹線・

かに啓発され目覚めていくか、または自分が変わるのかです。そのためには、色々なものに興味を持つことが大事。物事の変化を感じることが大事です。

自分を取り巻くものは、常に日々変化しています。その変化の波に吞まれるのも結構。波に逆らうのも結構。波に乗るのも結構。ただしそこでは己の判断が重要なのです。

人生何もやらなくとも後悔、やっても後悔であるならば、積極的努力による後悔を選ぼう。そしてその先にあるのは、祈りではなからうかと。「瞑目」とは、通常死を意味しますが、今を生きる私たちにとっては、祈りではないでしょうか。「あなろう、こうなろう」と思う気持ち。「あなりたい、こうなりたい」と思う気持ち。当然努力は必要ですが、これが祈る気持ちです。星に祈りでも大自然に祈りでもいいじゃないですか。「こうありたい」と思う気持ちを、祈りを込めて実現させる前向きな気持ち・姿勢こそが大切ではないかと思えます。

「人生 邂逅し 開眼し 瞑目す」は、63歳になる今でも私の座右の銘となつて生きています。そしてこれからも…。

東京オリンピックのそれぞれを「社会全体」が実現を目指し、「子どもたちはみんな大鵬・巨人軍・卵焼きが好き」という、戦後の復興期にいました。1951（昭和26）年の50年前というと、1901（明治34）年。僕たちが、明治を遠く思うように、今の柏陽生には、昭和の時代は、遠い世界のことかもしれません。

柏陽創立のころ、今の瀬谷区・泉区・栄区は戸塚区に含まれていて、戸塚区に初めて県立高校ができるということで、柏陽高校応募者は、横浜市全区、鎌倉・藤沢・茅ヶ崎市から受験し、第1期生200人が意気込みを持って入学しました。

柏陽高校ができてから、神奈川県立100校設立計画が推進しました。柏陽高校は、校長・教頭先生以外、全教科目40歳前後の先生を配置して、それぞれ精力的な授業を進めました。生徒の学力に幅はあつたかもしれませんが、先生方の手抜きはありませんでした。授業には、先

さて、柏陽高校は2017（平成29）年秋口に創立50周年行事を開催予定しています。

柏樹会は、その歴史的行事をサポートすることにより、教職員・PTA・卒業生・現役生の皆様の橋渡しができればと考えています。昨年度柏樹会は50周年準備委員会（委員長 本谷守氏 一期生）を立ち上げ、母校の50周年記念校内準備委員会と密接に連絡をとり、この記念式典に積極的に協力してまいります。

また、私たちが築立った母校への恩返しとして、卒業生の方々のネットワークを充実し、母校からのさらなる優秀な人材輩出にお役に立てればと思っております。

本会は現在卒業生18歳から一期生63歳の年齢幅で構成されています。この年齢層をさらに、十分生かした有意義な組織にしなければならぬと考えています。

同窓会としての組織的充実を図るべく、各期卒業生の皆様との連絡を強化し、最終的には代議員制を敷くことに推進してまいります。そこには役員のみならず皆々様の力が必要です。今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

生方の意気込みとして、いつも「闘い」としての真剣の場を感じていました。

さて、柏陽高校創立50周年記念事業の準備に、学校の要望に添えていくことと、僕の試案です。以下の提案をお聞きください。柏陽高校卒業生の皆さんに提案です。

50年近くの歴史を持つ同窓生の活躍は、社会的に大きな評価になっていきます。現役で日本を支えている人材も多いと思います。こうした卒業生を育てていただいた先生方を含め、皆様方が培ってこられた「知識」「技術」「研究成果」「仕事」「趣味」などを、柏陽高校近在の子どもたちから高齢者、勉強意欲のある男女に「伝える場」の講師としての発信者になって、「社会貢献」活動づくりができれば、という提案です。

柏樹会として取り組めるか、番外で同窓生有志で取り組むか、皆様からのご意見をたくさんいただき、創立50周年記念事業を一緒に取り組みましょう。

# 柏樹 木漏れ陽の声

## 「スマホ」駆使 ステップアップ人生!

柳田 和子 (1期生)

5年前からヘルパーの仕事を始めました。重い障害をお持ちの女性4人が住んでいるグループホームが私の職場です。グループホームというのは、簡単にいえば介護と食事のついたアパートです。

最近、やっと受験資格(介護実務経験3年以上)ができたので、2015年1月の介護福祉士国家試験を受けることにしました。講習会や模擬試験を受けて、1回で合格したいと思っています。

試験は実技と筆記試験です。実技はすでに合格したので、あとは筆記試験なのですが、これがかなりハードルが高く、90分で120問(5択)の問題を解かなくてはなりません。幸いに今はスマホのアプリで過去の問題が解けるので、昔のように分厚い参考書と首つ引き...ということはありません。

20代で保育士の資格を取って以来、40年ぶりの「お受験」です。頑張らなくっちゃ!

## 『チーム柏陽』永遠の応援団です!

大塚 和弘 (11期生)

柏陽高校には職員として2年間、また第11期生として3年間、大変お世話になりました。平成24年4月に着任してから日増しに、高校時代の想い出がつのり、過去の自分を反省しつづつ、現在の大きく進化した柏陽の様子に驚かされました。ここに至るまでには、多くの方々の力が投げられ、積み上げられた努力

から日々元気をいただき、エネルギーとして週末の部活動やセンター試験の応援に行くことが、とても楽しみでした。充実した2年間を過ごすことができたこと、大変感謝しております。

よって、今の柏陽高校があると思います。

その柏陽高校で、すべてに熱心な、生徒、保護者、教職員、同窓会、地域の皆様

特に「かながわ部活ドリーム大賞」のグラプリ受賞は、私にとっても大変嬉しく、まさに「チーム柏陽」として最高の栄誉だと感じています。

今後その勢いを増し、「チーム柏陽」の益々の活躍に期待するとともに、永遠の応援団としてエールを贈ります。「健康第一、元気があれば何でもできる!」

## 母校で再び学んだこと

内藤 伯香 (40期生)

平成24年度、数学の教育実習生として柏陽高校で行なった教育実習では、多くの先生方からご指導していただき、いろいろなことを学習しました。分かりやすい授業をするためには様々な工夫と準備が必要なこと、授業は生徒と共に作りあげるものである、を知り、授業に対する視野を広げることができたと考えています。

実習するうちに、高校時代に気づいた数学の魅力を再び思い出すことができました。生徒と同じく、教員でもある私も常に数学に興味・関心を抱き、成長していきたいと強く感じました。何よりもやりがいを感じたのは、生徒が笑顔で声を掛けてくれたとき、数学が理解できたと言ってくれたときです。卒業しても再び柏陽高校で貴重な体験ができたことをうれしく思います。今度は私が数学の面白さを教える立場になるように頑張りたいと、改めて感じた教育実習でした。

れるよう頑張りたいと、改めて感じた教育実習でした。

## 感謝の気持ちを忘れることなく

中山 拓登 (45期生)

現在、北海道大学総合教育部に在籍しています。所属学部の設定は2年次進級時なので、今は教養科目を学び、身につける日々です。

札幌で1人暮らしを始めてから、神奈川にいたときは本当に良き環境にいられたことを実感しています。心強い両親の存在、語り合える友、自然豊かな地元と改めて気づかされるのが数多くあります。神奈川からは遠い地からですが、感謝の気持ちを忘れず日々を過ごしていきます。

さて、柏陽高校はもうすぐ創立50周年になります。私も生徒会長として、50年にむけた生徒会規約の改正などを行ないましたが、これから益々その動きが活発になっていくことでしょう。50年の節目を迎える柏陽高校が今後どうなっていくのか、卒業生として暖かく見守っていきたいです。柏陽高校のさらなる発展を心より願っています。

## 高校時代でこそできる経験を大切に

大塚 桃姫 (45期生)

45期卒業生の大塚です。私が大学に入ってから感じたことのひとつは、皆で参加する学校行事や全力で取り組める部活動が少ないということでした。もちろん、自分の将来に繋がる専門的な講義やサークル・ボランティア活動など大学でしかできないようなこともたくさんありますが、大勢の仲間と役割を分担して何かをつくり上げていく楽しさ、上手いかなかったときの悔しさやそれを次に繋げようと必死に努力することは、高校時代でこそ経験できるものだったのだ、と思うと少し寂しい気がします。

3年生は、これからますます受験勉強が大変な時期だと思えますが、すてきな柏陽生の仲間と笑って過ごせる毎日を、共同で何かをやり遂げることの喜びを、ぜひ高校生のうちに大切にしたいと思えます。

訪問 お待ちしてます!



懐かしい人たちに会えるかも...

## ホームページ紹介

<http://www.hakujuy-kai.jp/>

柏樹会

検索

### あなたの「声」を聞かせてください!

「創立50周年を迎える『柏陽』への思い」「思い出・仕事・人生・趣味」「こんな卒業生紹介します」etc、何でもけっこうです。原稿は200~300文字で、郵送(柏樹会事務局へ)または、ホームページの投稿欄をご利用ください。

# 再会！タイムスリップ！笑顔！！

## 同期会たより

### 1期生

柏陽高等学校第一期同期会

・日時：2013（平成25）年11月24日

・場所：横浜中華街 重慶飯店

・参加者：39人

出席いただいた先生

市川先生（化学） 川島先生（社会）

柳田先生（国語）

柏陽高校も間もなく創立50周年を迎えようとしています。私たちが、年を重ねていくなか、同期会への参加者が少なくなっていることが少し気にかかる年代になってしまいました。でも、一期生の皆はそれぞれの分野で元気に頑張っています。同窓会は直近では2006年、そして、2010年には還暦を前に集まろうということで開催し、そして、昨年2013年11月に再度集まり、再会するとともに、当時我々をご指導いただいた先生方にお会いすることを楽しみに開催いたしました。参加した皆さんは、お互いの顔と手の皺を見て、それぞれの人生を垣間見ながら、これからも頑張ろうと次の再会を確認しました。



### 3期生

第5回柏陽高校三期会

・日時：2013（平成25）年6月16日

・場所：横浜国際ホテル

・参加者：73人

私たち3期生も還暦を迎える年齢になり、先生と生徒との壁はもうまったくと云っていいくらいなくなっています。卒業して40年の月日が経ち、3年に1度くらいの割合で同期会が開かれ、参加者の身の回りの変化に驚いたり、共感したりと人との出会いを人生の宝とつくづく感じるようになっていきます。

3期生 後藤佐智子

### 4期生

・日時：2014（平成26）年6月28日

・場所：コートダジュール・新横浜

・参加者：67人

4年に一度の同期会も2002年の初回から今回で3回目です。

私たちの同期会は、数人の飲み会程度がきっかけでここまで大きくなり、毎回4期生の1/3、1/4程度が参加しています。当初は有名ホテルの会場で開催していましたが、同期会の何よりの楽しみは旧友との歓談です。ということ、最近飲食にかかる費用は抑えた会費での開催を心がけています。

この10年ちよつとで私たちがらではのノウハウも確立しつつあります。

「同期会を開きたい」「集まりが悪い」など、より良い同期会をお考えの各期の方々もいらっしやるのではないのでしょうか。

私たちでお力になれることもあると思います。ご遠慮なくご連絡ください。

私たちの同期会のようにすは、「柏四会」でインターネット検索してみてください。今までの同期会の模様などがご覧になれます。



# 柏樹会 活動報告

## 平成24～25年度 事業報告

平成24年度 4月 46期生 入学式に生花コサージュ(胸飾り)寄贈

46期生 化学元素表を寄贈

柏樹会総会開催

進路説明会講師(卒業生)交通費補助

懸垂幕寄贈

5月 関東大会・全国大会出場ソフトテニス部

6月 関東大会出場陸上競技部

懸垂幕装置本体寄贈(事務室玄関壁面に設置)

8月 文化祭補助

10月 44期生 卒業式に生花コサージュ(胸飾り)寄贈

10月 1年生「科学と文化」発表会優秀賞補助

平成25年度 4月 2013同窓会名簿発行

5月 47期生 入学式に生花コサージュ(胸飾り)寄贈

6月 進路説明会講師(卒業生)交通費補助

懸垂幕寄贈 全国大会出場理科部

10月 文化祭補助

3月 45期生 卒業式に生花コサージュ(胸飾り)寄贈

10月 1年生「科学と文化」発表会優秀賞補助

## 平成26年度 事業計画

4月 新入生入学式に生花コサージュ(胸飾り)寄贈

5月 進路説明会講師(卒業生)交通費補助

6月 柏樹会総会開催

10月 文化祭補助

3月 3年生に生花コサージュ(胸飾り)寄贈

10月 1年生「科学と文化」発表会優秀賞補助

その他 部活動補助(関東大会・全国大会出場祝い金)

同期会補助・柏樹会ホームページの充実

柏樹会報発行・50周年記念事業準備

## 平成25・26年度 役員紹介

役職	氏名	期
会長	広岡 淳利	1期
副会長	森村 栄一	1期
	安田 真久	4期
事務局長	川名 信義	9期
事務局次長	河合 義昭	1期
事務局員	岩佐 良宏	11期
	小玉 芳秀	20期
会計	菅原 和美	1期
	久保田 剛	11期
会計監査	森本 新一	15期
	佐藤 隆夫	29期
顧問	本谷 守	1期
	堀 章一	3期
	矢部 博	4期

## ■ 柏樹会会計報告 ■

### 2011(平成23)年度一般会計報告

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日 (単位:円)

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	2,478,405	
43期生会費収入	840,000	280名×3,000円(振込手数料を除く)
預金利息	367	
合計	4,669,310	
支出の部		
科目	金額	摘要
Hp維持費	160,459	KDDI、Hp維持管理諸費用
母校寄付金	378,383	進路、文化祭、コサージュ、懸垂幕、陸上部、科学と文化
通信費	1,785	振込手数料4件
慶弔費	10,000	香典
会議費	1,176	会議御茶代
合計	551,803	
次年度繰越金	2,766,969	

### 2011(平成23)年度特別会計報告

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	5,531,134	
預金利息	2,049	
合計	5,533,183	
支出の部		
科目	金額	摘要
	0	
合計	0	
次年度繰越金	5,533,183	

### 2012(平成24)年度一般会計報告

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日 (単位:円)

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	2,766,969	
44期生会費収入	840,000	279名×3,000円 33期平山ゆり3,000円(振込手数料を除く)
会報協力金	527,000	柏樹会運営協力金
預金利息	347	
合計	4,134,316	
支出の部		
科目	金額	摘要
HP維持費	158,800	KDDI、HP維持管理諸費用
母校寄付金	1,058,060	進路、文化祭、コサージュ、懸垂幕、懸垂幕装置本体・他
通信費	3,569	振込手数料9件
事務局費	70,655	プリンター・ケーブル・USB・他
同期会補助費	30,000	第7期会
会議費	4,273	会議御茶代
雑費	188,550	名簿簿押し代
合計	1,513,907	
次年度繰越金	2,620,409	

### 2012(平成24)年度特別会計報告

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	5,533,183	
預金利息	1,227	
合計	5,534,410	
支出の部		
科目	金額	摘要
	0	
合計	0	
次年度繰越金	5,534,410	

## 新役員 挨拶

### ◆ 河合 義昭 (1期生)

小学校校長を最後に38年間の教師生活を無事終え、現在は授業改善支援員として、若い先生方の授業づくりの相談相手をしています。柏陽高校の先鋒として、教師、指導主事、管理職の仕事をしてきました。このように仕事をすることができたのは高校時代3年間取り組んできた相撲部のおかげだと思います。毎日の四股、鉄砲、股割、申し合い稽古。夏休みには神奈川工業高校で県の合宿にも参加しました。新設校でしたが、神奈川県大会、関東大会をはじめ、高知の新人大会、青森大会、岩手大会など全国の大会にも常に先鋒として出場することができました。相撲のおかげで、怪我をしない健康な体、苦しい時も頑張れる根性が身についたのではないかと思います。今後は柏陽高校1期生として、柏樹会のお役に立てればと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

### ◆ 佐藤 隆夫 (29期生)

現在、東京理科大学で研究と教育に従事しています。専門は数学(位相幾何学)です。大学院修了後、大阪・京都と移り住み、2011年3月に東京に引越してきました。大震災の直後ということもあり、非常に慌ただしい中での新生活となりました。引越の荷物があら方片付いたころ、柏陽高校同窓会の会報が1枚出てきました。懐かしさも相まって何気なく眺めてみると、1ペーじ目の会長の写真を見てびっくりしました。なんと同じ職場の上司だったのです。これがきっかけで矢部先生とも親しくさせていただきました。くことができ、改めて同窓会の恩恵を感じるとともに世の中狭いなと思ひました。本年度から会計監査を務めさせていただきます。時折、講義で計算間違いをして学生から指摘されるという、数学者としての面目が潰れかけている今日のごころですが、母校のお役に立てるよう気を引き締めて職責を果たしたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

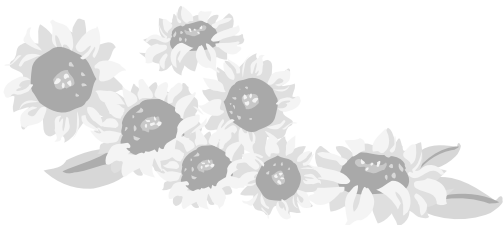
### 2013(平成25)年度一般会計報告

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日 (単位:円)

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	2,620,409	
45期生会費収入	837,000	279名×3,000円(振込手数料を除く)
預金利息	291	
合計	3,457,700	
支出の部		
科目	金額	摘要
Hp維持費	158,800	サクラインターネットサービス、Hp維持管理諸費用
母校寄付金	407,400	文化祭、入学生・卒業生コサージュ、懸垂幕、大会出場祝金他
通信費	2,929	振込手数料7件、葉書代
事務局費	28,080	インクトナー代他
会議費	2,112	会議御茶代
特別会計付替	1,000,000	特別会計へ
合計	1,599,321	
次年度繰越金	1,858,379	

### 2013(平成25)年度特別会計報告

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	5,534,410	
預金利息	1,105	
一般会計付替入	1,000,000	一般会計より
合計	6,535,515	
支出の部		
科目	金額	摘要
	0	
合計	0	
次年度繰越金	6,535,515	





# 柏陽高校から

## 創立50周年に向けて 具体的な取り組みを

第15代校長

久保田 啓一



柏樹会の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のことと拝察申し上げます。私はこの4月1日付で県教育委員会の高校教育指導課より、柏陽高校第15代校長として着任いたしました。柏陽高校の輝かしい実績や先輩方のご活躍を聞くたびに、県下に誇るすばらしい高校であること、改めて認識した次第であります。これまでの良き伝統を継承しつつも新たな時代に対応できる学校として成長できるように努めますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、柏陽高校は1967(昭和42)年に第1期生5クラス200人が入学して以来、15,569人の優秀な先輩たちを輩出し、今年4月8日には48回目の入学式を行いました。生徒は学区が撤廃された

ことにより、川崎や横須賀、小田原や相模原など県下全域から通学しており、これは本郷台駅から徒歩5分という立地条件の良さに加えて、柏陽高校の名が県下にしっかりと根付いたことによるものと思っております。

また、1つの中学校からは数名しか入学できなくなるほどの人気と実力を兼ね備えた現状に対して、近隣の中学校からは「近くにあつて遠い高校」と言われるようになり、ある意味大変喜ばしく感じています。このことは進学実績にも現れ、国公立大学の現浪合わせての合格者数が10年前の90数人から少しずつ増加し、昨年度では120人を超えるまでになっています。

校舎につきましては、平成5年に職員室や理科室などがある新棟と体育館が新

たに改築され、芸術棟が改修されました。しかし、教室棟については当初のままで、今ではかなり老朽化が進んでおり、改修工事の順番待ちの状況です。できればきれいな教室棟になって50周年を迎えられればと考えていましたが、それまでには難しいと伝えられており、大変残念に思っています。

さて、創立50周年に向けていよいよ具体的な取り組みをするようにと前任の山本校長から引き継ぎまして、今後の準備スケジュールを整理し、柏樹会の皆様にご相談させていただくことになりました。記念式典の実施時期や祝賀行事の内容、記念誌や記念品などについて、柏樹会の皆様に多大なるご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 創立50周年記念事業の 成功をお祈りして

第14代校長

山本 明利



2012(平成24)年4月に前校長上遠野幸男先生からバトンを受けついで、はや2年。この間、柏樹会前会長矢部博様、新会長広岡淳利様をはじめ、役員の方々には折りにふれ相談にのっていただき、多大のご支援をいただきました。本当にありがとうございます。卒業生の皆様方にも、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

卒業生の皆様のご活躍と生徒諸君のたゆまぬ努力のおかげで、柏陽高校の評判は年々向上し、学力向上進学重点校の名に恥じない、トップ校としての実績を上げています。

大学進学実績だけではありません。部

活動においても高い加入率と活動実績が評価されて、平成24年度には県でただ一校に贈られる「かながわ部活ドリム大賞グランプリ」をいただき、教育長から表彰を受けました。この年は、陸上競技部、ソフトテニス部がともにインターハイの出場を果たした年で、柏樹会様には校舎正面の懸垂幕昇降設備の増設にご協力いただき、大変生徒の励みになりました。この場をおかりして改めて御礼を申し上げます。こうした卒業生の皆様の支えがあつてこそ、高いレベルでの文武両道が実現できたと思えます。

本校は2016(平成28)年に創立50周年という記念すべき大きな節目を迎えます。先日、柏樹会役員の皆様とも打ち合

わせを行ない、2017(平成29)年秋に、記念式典を行なうこととし、それに向けて記念事業のための募金活動を行なう計画を立てました。記念誌の編纂・発行も予定しております。半世紀にわたる母校の歴史と共に、柏樹会様も円熟の時期を迎えられると思います。どうぞこの機会に、同窓のお仲間と連絡をとりあつて、同窓会活動を充実させ、後輩の支援にも力をお貸しください。

私は、本年3月末日をもって定年を迎えましたので、後任の久保田啓一校長に後を託します。洋々たる柏陽高校の前途に期待し、創立50周年の記念事業の成功と、式典の盛会をお祈りして、私のご挨拶とさせていただきます。

# 行事

## 第31回柏陽祭

9月28日(土)～29日(日)  
 テーマ・宴(うたげ)  
 テーマ曲・情熱大陸 by 葉加瀨太郎  
 来場者数…1日目 2, 869人  
 2日目 3, 140人

文化祭は来場者数が6,000人を超え、大盛況となりました。実行委員会も委員長を中心に3年生が核となり、係ごとに準備作業に取り組み、文化祭実行委員会は組織としてもしっかりと機能していました。先輩から後輩への指導を受けて、経験を踏まえて上級生となり、さらにもう一工夫をこらして、後輩に引き継いでいく。この経験は社会に出てからも大いに役立ちます。学業だけでなく、部活動とともに学校行事も充実した柏陽高校となってきました。

### ▽お知らせ

第32回柏陽祭  
 2014年9月27日(土)～28日(日)  
 卒業生の皆様もぜひご来場ください。

## 修学旅行

11月11日(月)～14日(木) 沖縄県

初日はひめゆり記念資料館や壕、平和祈念公園などを訪れ、約70年前、自分たちと同じ年頃の生徒たちが経験したことを学びました。特に印象に残ったのは、壕の見学です。頭をぶつけないよう身をかがめな

がら入った壕の中で、ガイドさんから過酷だった沖縄戦の様子を詳しく聞いた後に、照明をすべて消して往事の暗闇を体験しました。11月でも空気がもわつとしている壕の中で、大勢の人がひしめき合っていた夏は、異臭と重苦しい雰囲気、さぞかし息詰まる場所だっただろうと、目を閉じ平和を祈って壕の見学を終えました。



2日目以降は、渡嘉敷島へと渡り、

マリンスポーツをはじめとする様々な体験に、沖縄を満喫。あいにくの天候でしたが、横浜では味わえない体験や、最終日の飛行機が遅れ、なかなか帰路につくことができませんでした。これも旅の思い出。印象に残る修学旅行となりました。

## 体育祭

『心・笑・体〜いつがんばるか?今でしょ!!』のテーマ通り、オリジナルストーリーになった各色のダンスや、迫力あるマスコットに心躍らせ、バラエティレースではおおいに笑い、色別リレーでは色の声援を一手に受けた代表選手が走りぬけていました。体育祭実行委員長主導のもと、生徒が主体となつたすばらしい行事となりました。

## 柏陽魂を見ました

平成26年3月定年退職 英語科 金尾有理子

柏陽高校で印象に残るのは、先生方と生徒たちが素晴らしかったことです。ぎつしりと詰まったスケジュールをてきぱきとこなしていく様は実に見事でした。

その象徴の一つと思えるのが、吹奏楽部の楽器運搬の様子です。外部で演奏会を行う際は、手で持ち運ぶ楽器以外にトラック2台分の楽器を搬出・搬入しなければなりません。部員たちは、生徒棟5階から1階まで素早く楽器を移動させ、傷まないように毛布で養生しながらトラックの中に収めます。運搬業者も、生徒たちで仕切れることを心得ていて余分な手出しをしないほどです。

すべての楽器が整然と無事に運搬され、また、あつという間に元通りに片づけられる様子には毎回感心させられました。先輩から後輩へと受け継がれる、この計画性と手際の良さに、柏陽魂を見る思いがしたものです。

# 部活動



## 運動部

### 男女バスケットボール部

男女とも全国大会出場を目標とし、「高校生らしく一生懸命に」をモットーに活動。夏に校内合宿を行い、秋の新人戦・冬の横浜地区大会・春の関東大会予選・夏の高校総体予選などの大会に向けて日々練習に励んでいます。過去には春の関東大会神奈川県予選ではベスト16にはいりました。



### 水泳部

#### ■主な行事・大会

5月プール清掃、プール開き、6月県総体兼関東予選、7月合宿・横浜市民水泳大会、8月高校水泳競技大会・横浜地区水泳競技大会、9月プール仕舞。

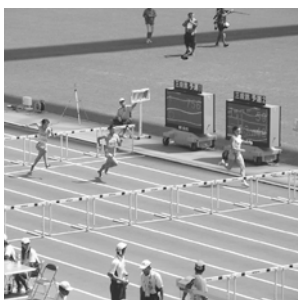
記録の向上と心身の健やかなる成長を目指し、初心者・経験者問わず一生懸命に活動。目指すは関東、インターハイ、国体出場!



## 陸上競技部

### ■試合成績

- ・神奈川県高等学校体育大会陸上競技大会  
男子400m H 田尻 健太(3年) 3位
- 男子3000m障害 山本 薫(3年) 決勝進出
- 男子4x400mリレー 8位 女子1000m H 坂口理沙子(3年) 2位
- ・関東高等学校陸上競技大会  
男子400m H 田尻 健太(3年) 予選敗退
- 女子1000m H 坂口理沙子(3年) 4位
- ・全国高等学校陸上競技対校選手権大会  
女子1000m H 坂口理沙子(3年) 準決勝敗退
- ・神奈川県高等学校新人陸上競技大会  
女子7種競技 河合 彩加(2年) 7位



### テニス部

昨年度は新人戦団体男女ともにベスト16に進出し、関東予選の個人戦も、男女ともに本戦出場。現在はその先輩の記録を超えようと、チーム力に磨きをかけています。今年は団体戦で、ベスト8に入ることを目標とし、日々努力をしています。

### ソフトボール部

春は関東大会予選、夏はインターハイ予選、秋は新人戦の3大会でシード権を目指して、日々の練習に取り組んでいます。春の関東大会横浜地区予

選を通過し、県大会出場を果たすことができませんでした。部員数も増え、初心者・経験者問わず一生懸命活動。

■試合成績

- 平成25年度インターハイ県予選 2回戦進出
平成25年度秋季新人戦 1回戦

サッカー部

2013年度は、3年生最後の大会である高校サッカー選手権神奈川県一次予選において4回戦のブロック決勝まで勝ち進むことができました。残念ながら栄光学園に敗れてしまい二次予選進出はなりませんでしたがチーム一丸となった結果を残せました。新年度は部員60人という柏陽高校運動部の中では1番の人数で文武両道の精神で活動しています。

バドミントン部

■H26年度 試合結果

部員のうち約7割が高校からバドミントンを始め、最初はシャトルに当たらない者が、対外試合で勝てるようになります。インターハイ(県予選)男子団体二回戦では、試合時間4時間に及ぶ死闘を制し横浜創英に3-2で勝ちました。女子団体三回戦では小田原と対戦し接戦の末、惜敗しました。

①関東大会地区予選

- 男子団体 5位通過 県大会出場
女子団体 7位通過 県大会出場
男子ダブルス 7位
女子ダブルス 4位通過 県大会出場
女子シングルス 2位通過 県大会出場
③インターハイ県予選
男子団体 二回戦 3-2 横浜創英
三回戦 2-1 海老名
女子団体 二回戦 3-0 湘南学院
三回戦 0-3 小田原

野球部

2013年度は、秋季大会県ベスト16という成績をおさめることができ、

チームにとつて自信につながるものとなりました。一冬越え、秋以上の成績を狙った春季大会では、惜しくも地区予選敗退となり、課題を残す結果に。4月には、1年生12人が入部し、活気と競争心が生まれました。このメンバーで、神奈川県大会では昨夏の4回戦を超える結果を目指します。

バレーボール部

〈男子〉

毎日、こつこつと練習。基本的なプレーを大切に、部員同士声をかけあい、効果的な練習ができるよう一致団結して、頑張っています。

■試合成績

- 平成25年度 新人大会 横浜地区予選
元石川 2-0 柏陽
県商工 0-2 柏陽
市が尾 2-0 柏陽
平成26年度 関東大会 横浜地区予選会
みなと総合 0-2 柏陽
慶応義塾 2-0 柏陽
山手学院 2-1 柏陽

〈女子〉

日頃から支えていただいている方々へ感謝を忘れず、限られた時間のなかで全員が全力で練習。常に意識を高く持ち、仲よく元気に活動しています。

■試合成績

- 平成25年度横浜地区サウスカップ 第3位 賞状獲得！
平成26年度関東大会横浜地区予選
柏陽 2-0 新羽
柏陽 0-2 東
柏陽 2-1 横浜双葉
柏陽 2-1 横浜商大
柏陽 0-2 東

卓球部

関東卓球大会神奈川県予選女子ダブルス 佐藤・田島組 県ベスト32
全国高校総体卓球競技 女子団体 県ベスト16
男子団体 県ベスト32

平塚卓球選手権大会 女子 下田 ベスト16

横浜市高校卓球選手権大会 男子 堺 ベスト16
横浜市ジュニア選手権大会 女子 下田 第5位
神奈川県ジュニアオープン卓球大会 女子 下田 Bランク準優勝
神奈川県高等学校新人卓球大会 女子ダブルス 下田・馬場組 県ベスト16

男子ダブルス

- 堺・森田組
渡邊・長谷川組 県ベスト16
男子団体 県ベスト16

剣道部

文武両道を旗印に、充実した活動。夏合宿は柏陽高校剣道部出身のOB OG顧問校(鎌倉、大船、霧が丘)と合同で長野県立科高高原女神湖畔にて4泊5日で開催。冬の寒稽古は厳しいですが、全員の皆勤をめざし、最後までやり遂げています。稽古だけでなく夏のBBQ大会や年末の竹刀供養での焼き芋、新年の餅つき、豚汁などイベントも盛りだくさん計画され、いろいろな意味で充実しています。

2013年度女子が関東大会県予選でベスト16となりシード権をとりました。さらに横浜地区大会女子個人戦ではベスト8に進出しました。2014年度の関東大会県予選では男子がベスト16となりインターハイ予選にはシード校として登場しました。土曜日午前中は学校で稽古をしています。差し入れを持参して後輩の応援にご来校ください。よろしくお願ひします。

山岳部

日々のトレーニング、月1回程度の山行、夏休みは合宿。勉強や行事などに忙しい柏陽高校生活の合間に、大自然でリフレッシュ！2013年は、丹沢、箱根、引退山行で雲取山、夏合宿では北アルプス(表銀コース、槍ヶ岳)2回目合宿で尾瀬(会津駒ヶ岳、燧ヶ岳周辺)。

ラグビー部

怪我をしないための日々のウエイトトレーニングに始まり、土日には練習試合に遠方へ行くことも多く、花園出場を目指してチーム一丸となって練習しています。結果は全国大会決勝まで進んだ桐蔭学園に敗れ、県ベスト16には叶いませんでしたが、「応援されるチームになろう」と言ったキャプテンを中心に、バランスの取れた好チームでした。

ハンドボール部

2013年度は新人大会で1回戦を突破し、2回戦に進出。現在、週6日、ハンドボールコートで活動しています。10月と3月にOB戦を開催し、43期、44期、45期の先輩たち、16人が参加してくれました。先輩たちとのつながりを大事にして、ハンドボール部の歴史を新たな気持ちで作りに上げていこうと部員たちは意気込んでいます。

ソフトテニス部

〈女子〉
日々、はじめにそして楽しく活動しています。
〈男子〉
大好きなソフトテニスを日々、鍛錬しています。
☆県予選会
関東大会個人(5月)ペア ベスト16
関東大会団体(5月) ベスト16
インターハイ(個人)(5月)ペア 7位



- インターハイ(団体)(6月) ベスト16
団体 高橋・山本ペア ベスト16
☆横浜市民大会(個人)
夏季市民大会
北城・齋藤ペア 優勝
善利・中村ペア 準優勝
秋季市民大会
北城・齋藤ペア 3位
渡邊・大知ペア 3位
冬季市民大会
北城・齋藤ペア 3位

文化部

茶道部

メモリアル高校生や、海外からのお客様が来た時のお茶会(随時)、文化祭でのお茶会、夏休みのお菓子作りなど、週一回の活動をしています。



理科部

主にロボット工学班と遺伝子酸素研究班に分かれて活動。工学班は一昨年に続き、昨年もロボカップにおいて全国大会出場を果たした。また、同じロボットコンテストのWROでは、特別賞を受賞。今年も全国大会出場を目指している。

遺酸研は、昨年目立った実績はなかったものの、今年からは、研究発表など本格的な活動を行なうことを予定。天文班では、夏季と冬季の天体観測を計画。



天体観測の朝

軽音楽部

平日は毎日、ライブ発表前は土日と一生懸命練習に励んでいる。
新人生歓迎ライブ、サマーライブ、合宿・ライブ、文化祭ライブ・同後夜祭、クリスマス駅コン(本郷台駅にて)、クリスマスライブと、それぞれ、演奏技術を披露するのみならず聴衆の方々を楽しませるための工夫を凝らして、大成功と自負!

吹奏楽部

2013年度は、横浜吹奏楽コンクールにおいて銀賞を受賞。学生指揮者の元、全員で一つの音楽を作り上げることができた。アンサンブルコンテストでは、打楽器四重奏が銀賞、クラリネット六重奏が金賞を受賞し、2年連続県大会へ出場。また、ジョイントコンサート、クリスマスコンサート、定期演奏会など多くの方々に感謝の気持ちを含めて演奏した。2014年度も新たに入室した33人と共に皆さんに感動を与えられるよう努力します。

美術部

部員一人ひとりが自分の表現の幅を広げるため制作に打ち込んでいる。部室では、透水彩絵の具や油絵具、パステル、それにキャンパスや色々な種類の画用紙など、画材が充実し、様々な画風に挑戦することができ、9月末の文化祭では個人作品の他、部員全員の合作を展示。また11月末の神奈川県高等学校美術展に向け、創意工夫を凝らした作品を長期間に渡り制作します。

英語部

毎週、火曜日と木曜日、ランチトークと称してALTの先生とお昼をたべながら、お喋りを楽しんでいる。2013年は、3年生が中心となり、日々の世間話、教育・政治問題などの硬いテーマまで、幅広い「お喋り」を楽しみ、大いに盛り上がりました。

合唱部

7月、多目的ホールにてサマーコンサート。8月、県立音楽堂にてNHK合唱コンクール。9月、文化祭にてミュージカル『サウンド オブ ミュージック』上演。

デザインワーク部

毎週水曜日の放課後美術室でのんびりと活動。部員のほとんどが他の部活動と兼部。主な活動は年に5回発行する部誌の製作で、依頼があれば挿絵やポスターなども描き、昨年も文化祭のポスターやパンフレットの表紙を製作しています。

文芸部

各自の原稿を持ち寄り、部誌「滯標(みおつくし)」を年に数回発行。また文化祭ではデザインワーク部と同じ教室で展示を行ない、休憩スペースを設け、くつろぎながら部誌を読んでいたけるようにしています。

数学部

主な活動は、プログラミングやワープロ、表計算ソフトなどの操作を学習すること。パソコンを使いこなすことによつて、自分の希望したゲームやアニメーションを作ることや、各種検定に合格することを目標としている。また、受験に向けた数学の学習も。部員数は小規模で、パソコンの台数も限られているが、少しずつ改善していき、もっと楽しくて活発な部活にと努力しています。

写真部

勉強や行事などに忙しい柏陽高校生活の合間に、学校内外で撮影した写真を展示紹介する。
①写真の校内での展示
②部活動・行事・学校風景などの記録用写真撮影、③文化祭でのオリジナル写真展示

書道部

週2日、お互いを高め合いながら古典作品の臨書やそれを基にした創作活動。昨年度は主に書道パフォーマンスなど様々なことに挑戦。学内の文化祭で初挑戦し、12月には「神奈川県書道まつり」での書道パフォーマンスコンテストで初出場にして優勝。その他にもコンクールへの参加なども積極的にこなっています。

クラシックギター部

ポップスの曲を中心に、新人生歓迎コンサート、文化祭やクリスマスコンサートなどを校内で行なう。昨年は本郷台駅のクリスマスコンサートにも出演。今年は人数も大幅に増え、元気に活動中!

競技かるた同好会

今年度から8人で発足。最初は百首を覚えるのにも苦戦でしたが、少しずつ競技らしく。まだ同好会として始まったばかりですが、今後は全国大会に出場できるよう頑張っていきます。

お知らせ

1 来校時の手続き

来校された際には事務室に名簿がありますので、記名していただき入校許可証を着用してください。車で来校された場合には、同様に事務室で記名後、駐車許可証をフロントガラスにおいてください。

2 教育実習について

実習は10月頃に実施しています。希望する卒業生は前年の4月中に柏陽高校教育実習担当教諭へ申し込みください。人数が多い場合には抽選となります。

柏樹会事務局からのお知らせ

1 総会のご案内

柏樹会の総会は毎年4月〜6月に開催されます。ホームページにてお知らせいたします。

2 会員登録変更について

登録変更がございましたら、書面にして事務局まで郵便でお知らせください。間違ひ防止のためご協力をお願いします。書面には卒業年度、卒業時の所属クラスNo.、氏名、現住所、電話番号を明記し、変更内容(住所、お名前、訃報など)をお書きください。

4 振り込め詐欺について

警察からも注意喚起されていますが、振り込め詐欺も同窓会関連の事例で多数おきています。少しでも怪しいと思ったら必ず確認してください。

5 人材バンク登録について

柏陽高校ではキャリア教育の一環として、社会で活躍する先輩方の話を聞く機会をつくる企画を進めています。県内の多くの学校では卒業生が現役生徒に対して幅広い分野で後援会や講義、出前授業など多彩な活動を行なっています。柏樹会でも現役生徒に向けてさまざまなサポートを充実していきたいと考えていますので、会員の皆様のご協力(人材バンク登録)をお願いいたします。

■郵送先

〒247-0004
横浜市栄区柏陽1-1
県立柏陽高校内
柏樹会事務局宛

3 個人情報取り扱いについて

クラス会や同期会の幹事宛に「出席できないけれど、名簿が欲しい」などと言う連絡があったときは必ず、本人確認を行なってください。悪徳名簿業者があらゆる手を使って名簿を手に入れようとしています。身分を証明する書類(保険証など)

■人材バンク登録先

柏樹会事務局 川名信義
県立柏陽高校
TEL 045(892)2105